



多摩大学附属聖ヶ丘中学校

ひじりがおか

適性型入学試験出題の基本方針・問題構成

2015年度中学校入学試験より導入した適性型入試では、応募者は一昨年134名、昨年109名と増加し、入学者も24名、27名と確実に増えています。2018年入試でも、これまでと同様に東京都立中高一貫校の入学試験で採用している共通問題の適性検査ⅠおよびⅡに準じた検査Ⅰ(作文型)と検査Ⅱ(資料型)の2つの学科試験を実施します。以下の出題の基本方針、出題意図・問題構成等にご留意の上、受験して下さい。

(1) 出題の基本方針

- ① 文章を正しく読み取り、内容を的確にとらえた上で、自己の考えや判断を論理的に表現する力をみる。
- ② 小学校で学習した内容や生活体験を通して身につけた力を表現、説明する力をみる。
- ③ 資料や図表などを用い、比較検討し、与えられた条件に基づいて課題を解決する力、論理的に説明する力をみる。

(2) 各検査の出題意図、問題構成

出題の基本方針にしたがい、以下の通り適性検査Ⅰおよび適性検査Ⅱを実施する。

■ 適性検査Ⅰ (45分, 100点)

① 出題意図

与えられた文章を読み取り、課題に対して自らの経験に基づき、考えや意見を論理的に表現する力をみる。

② 問題構成

- ・ 大問1題とし、評論文やエッセーなど1500字程度の文章を読み取り、次の2つの問いに答える。
- ・ 作者の考えや主張を的確に判断して要約する問題
- ・ 作者の考えを踏まえて、自らの経験や見聞きしたことなどをもとに自分の意見や感じたことを、400字程度の文章に論理的にまとめて表現する問題

■ 適性検査Ⅱ (45分, 100点)

① 出題意図

資料を読み取り、比較・分析・考察する力や課題に対して的確に表現する力をみる。

② 問題構成

- ・ 大問は、算数的題材、理科的題材、社会的題材に基づく3問構成とする。
- ・ 資料や図表を基に、与えられた条件にしたがって課題を解決する能力を判定する。

適性型入学試験概要

- 募集定員 20名 *この内、上位者を特待生(年間授業料無料)とする。
- 出願期間 2018年1月20日(土曜日)～2月2日(金曜日) 8:30
※本年度より WEB 出願となります
- 受験料 20,000円
- 実施日 2018年2月2日(金曜日) 午前

■時 程	集 合	8時30分
	1時間目 適性検査Ⅰ〈作文型〉	8時55分～9時40分 (45分)
	2時間目 適性検査Ⅱ〈資料型〉	10時00分～10時45分 (45分)
	アンケート記入	

- 合格判定方法 適性検査Ⅰ(100点)と適性検査Ⅱ(100点)の合計得点で判定する。
*なお、ご希望の方には、採点基準と達成度を当日夜にご自宅まで FAX
または添付 PDF ファイルにて送付します。
- 合格発表 2018年2月2日(金曜日) 18時30分
*本校ホームページおよび校内掲示。
*受験票を必ずお持ち下さい。
- 入学手続締切 2018年2月6日(火曜日) 17時00分
*先に入学金 250,000円を銀行にお振り込み頂き(本校指定の振込用紙)、
振込受付証明書と誓約書を本校事務室に提出してください。
★手続きは公立中高一貫校の発表日まで延納が可能です(届け出・印鑑必要)。

多摩大聖ヶ丘は 新たなステージへ

校長に五十嵐一郎が就任して4年目を迎え、これまでの聖ヶ丘の教育的手法を整理し、新たな取り組みを加えて「3つの柱」に統合・集約、この教育改革は確実に新たな道へと歩み出しています。朝の10分間読書と放課後のSelf Study time をという静寂の時間を置くことで、さらに充実させると同時に、昨年見直しを行った夏季講習サマーセミナーはさらに発展させ、来るべき達成度テストに備え、21世紀型教育に基づいた思考力・批判力を高める講座を増やしました。これを受けて、中学校入試では、「国語」の試験内容を改訂すると同時に、都立中高一貫校の入試に準拠した適性型入試を導入しましたが、この試験によって入学した27名の生徒は確実に実力を付け、常に成績上位を占めています。



問い合わせ先 042-372-9393

<http://www.hijirigaoka.ed.jp>